



## 森沢梨園

### 「特別栽培農産物」として販売することで 他の梨とも差別化が図れるようになった

県道38号線を土佐市方面に向けて進んでいると、いの町の天王ニュータウンを抜けてすぐ「森沢梨園」の大きな看板が目に入る。そしてその看板を目に、客が引っこりなしにやってくる。その理由は明白。この直売店では採れたての新鮮な梨が手頃な価格で販売されているから。そしてもちろんたが安いだけでなく、「森沢梨園」で採れた梨が美味しいからに他ならない。

#### (Q1)「森沢梨園」の地産地消の取り組み状況はいかがですか？

当園では、農林水産省が定めたガイドラインに則って、高知県が定めた農業や化学肥料の半分で梨を栽培しています。これによって「特別栽培農産物」という表示で販売できるようになり、結果として売り上げにもつながり他の梨とも差別化が図れるようになりました。また、安心して食べられるということから地元の学校給食や保育園などから注文が来ます。やはり子供たちにはより安全なものを食べさせたいという親心もあると思いますので、そういった面で地産地消に繋がっているのではないのでしょうか。



直売店の中では、従業員が丁寧に仕付け作業をしている。実がしっかり詰まっている立派な梨が所狭しと並ぶ。



遠くからでもすぐ目に入る「梨」と書かれた大きな看板が目印。直売店の前には駐車スペースもあるので、遠方からでも気軽に立ち寄れるのが嬉しい。



#### 店舗情報

所在地	〒781-2124 吾川郡いの町八田2387	目印となる 最寄りの施設	_____
電話番号	088-892-1033	FAX番号	088-893-3780
Eメール	_____	ホームページ	_____
店舗形式	小売・専門店、その他	主な扱い品目	その他



## 森沢梨園

### 地産地消を推し進めるには同時に 地産外商も必要かもしれません

#### (Q2) 基本的な話ですが、梨の収穫や販売についてお聞かせください。

収穫時期は、8月の初めから11月の上旬までとなります。その間に採れる梨の総数は、ざっと10万個くらいでしょうか。それのように直販所で販売したり地元の学校などで消費して買うことで地産地消に繋がっています。さらに地産外商としましては、約7年前から日本郵政の「ゆうパック」を使って、四国がメインですが全国に発送しています。この場合、お客様が郵便局でカタログをご覧になりそこで注文されるので、こちらは郵便局から注文数聞き、発送準備をするといった具合です。

#### (Q3) 地産地消のみならず地産外商の方にも力を入れていると？

私たちのような生産者の場合、郵便局からこれだけの数の注文が入りますよと知らされれば、その分の数を確保して残りは自分のところで販売できるので、「ゆうパック」を利用したの発送はやりやすいですね。当園では9月に出荷するのですが、「ゆうパック」の場合は毎年3000～3500個ほどの注文があります。市場などで販売する場合、梨の値段は変動するのが通常ですが「ゆうパック」を使った場合は安定しているため、その辺りはかなり助かっています。こうやって地産外商も行うことで高知梨のブランド向上にもなりますし、それがまた地産地消にも繋がっていくのだと考えています。もっと頑張っていきたいですね。



直売店で販売されていた「あきづき」試食させていただきました。とにかくぐくぐくジュシー！



取材をさせていただいた時はかなりの繁忙期だったにも拘わらず、気軽に応対してくれた森沢さん。



直売店の近くにある梨園にも案内していただいた。木にはまだ収穫前の梨がずらりと並び、よく見ると綺麗な梨の花も咲いていた。

